



第3回 えほんみち絵本講座

えほんみち主宰の早川は、30数年絵本業界に身を置いてきて感じるがあります。
それは、日本は間違いなく絵本先進国だということです。そして、絵本作家を目指している方の人数も世界一でしょう。
しかし毎年「新人絵本オーディション」を開催してきてわかったことがあります。
それは、日本の絵本出版社のほとんどが「新人を育てる余裕がない」ということです。

ですから「編集者に指導さえしてもらえれば、自分だって絵本作家になれる」と思っている人がいたら大間違いです。
絵本編集者は及第点以上の人にはアドバイスしますが、及第点以下の人を真剣に面倒見るほど暇ではありません。
つまり、絵本作家になるためには、自分でレベルアップしなければならないのです。
そのためには絵の力以上に必要なのがアイデアや文を磨く力です。
ところが、アイデアや文に特化した絵本講座がほとんど見あたりません。
そこで早川は、えほんみち絵本講座を始めることにしたのです。

受講者からは「絵本の見方が変わった」「もっと受講していたかった」「絵本を学び直すことが出来た」「また受講したい」
などなど大変好評をいただいています。そして、この講座は、純粋に絵本を学びたいという方にもおすすめです。
しかし、絵本作家志望者にとっては難しい講座です。



第3回 えほんみち絵本講座概要

- 募集人数 対面講座30名 通信講座30名
- 募集期間 2017年4月20日～6月30日
- 受講資格 対面講座：特になし
通信講座：動画をインターネットで見られる環境が必要
- 課題提出 毎回独自の課題が出され、次回までに提出する。
- 対面講座会場 表参道ビジネスフォーラム
東京都港区南青山5-6-24 南青山ステラハウス7階
- 応募方法 氏名(フリガナ)・性別・年齢・住所・電話番号・FAX番号・メールアドレスを、
メールかFAXか郵送で連絡の後、指定の銀行口座に受講料を振り込んでください。
- 受講料 60,000円(税込)

主催 株式会社 東京ブックサポート 代表 早川裕
〒182-0022 東京都調布市国領町4-13-30-201
e-mail: ehonmichi@gmail.com
FAX:042-488-8361

(応募欄)

フリガナ: _____

氏名: _____

年齢: 才 男・女 _____

住所: 〒 _____

TEL: () FAX: () _____

e-mail: _____

第3回 えほんみち



受講生募集

日本は間違いなく絵本先進国です。そして絵本作家を目指している方の人数も世界一でしょう。

しかし日本には、絵本の講座は数多くありますが、

アイデアや文を中心にすえた教室があまりにも少ないのです。

えほんみち絵本講座は、絵本のアイデアや文章に特化した絵本講座です。

本気で自分の絵本をレベルアップさせたい人はもちろんのこと、絵本について学びたい方にもオススメです。

この講座を受講したら、もう以前のあなたには戻りません。

主催: (株)東京ブックサポート

講座スケジュール

対面講座

第1回	7月4日(火)	早川講座①	「日本の絵本の歴史」
第2回	7月18日(火)	ゲスト①	岩田明子(絵本作家)
第3回	8月1日(火)	ゲスト②	當田マスミ(大日本図書編集長)
第4回	8月15日(火)	早川講座②	「絵本を出版するということ」
第5回	9月5日(火)	ゲスト③	風木一人(絵本の文章作家)
第6回	9月19日(火)	早川講座③	「絵本の構想を練る」

第7回	10月3日(火)	ゲスト④	木村真(学研プラス編集長)
第8回	10月17日(火)	ゲスト⑤	宮川勉(小学館編集長)
第9回	11月7日(火)	早川講座④	「絵本作りの注意点」
第10回	11月21日(火)	ゲスト⑥	はたこうしろう(絵本作家)
第11回	12月5日(火)	ゲスト⑦	大河平将朗(金の星社編集長)
第12回	12月19日(火)	早川講座⑤	「講評」

通信講座：通信講座は対面講座の約1週間後にメールにてYouTube動画をお送りします。

最強の講師陣



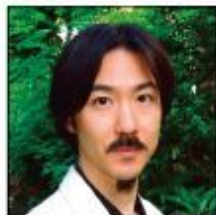
岩田 明子 (いわた あきこ)

1967年、東京生まれ。1991年、武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科を卒業。2004年、子どもの本専門店「メリーゴーランド」(三重県四日市市)主催の「絵本塾」に参加。絵本作品に「ばけけけけけけけけけけくん」シリーズ、「とんねる とんねる」「どっしーん!」「どんどんくるくる」(文・中尾昌隆)、「ともに大日本図書」、「こちら たこたびょういん」(PHP研究所)「はらへこそくくん」(佼成出版社)「でてる でてる」(ひかりのくに)がある。



當田 マスミ (とうだますみ)

大日本図書所属。主な編集絵本に「ばけたくん」シリーズ、「にんにんじんのにんじんじゃ」シリーズ、「とんねる とんねる」「どっしーん!」「どんどんくるくる」(文・中尾昌隆)、「いろいろバス」「おふくさん」「みんなでつくっちゃった」「おぼけにてそうろう」「ともだちのつくりかた」など。



風木 一人 (かぜき かずひと)

東京生まれ。絵本の文章作家・翻訳家。創作絵本に「うしのもーさん」(絵/西村敬雄 教育画劇)、「ぬいぐるみおとまりかい」(絵/岡田千晶 岩崎書店)、「ふしぎなトラのトランク」(絵/斎藤隆 鈴木出版)、「青のない国」(絵/長友啓典・松沼教 小さい書房)など多数。「ながいながいへびのはなし」(絵/高島純 小峰書店)はフランス、韓国、中国、台湾で翻訳出版されている。翻訳した絵本に「こくばんくまさんつきへいく」(作/マーサ・アレクサンダー ぼるぶ出版)、「おおきな木のおはなし」(作/メアリ・ニューウェル・デバルマ ひさかたチャイルド)などがある。



木村 真 (きむらまこと)

1968年東京都生まれ。学研プラス 編集長。いままで200冊以上の絵本を企画・編集する。担当した作品に「いつでも会える」(作:菊田まりこ)、「ババはウルトラセブン」(作:宮西達也)、「思いつき大百科辞典」(作:100%ORANGE)、「やさいさん」(作:tupera tupera)、「しろねこくるねこ」(作:きくちちき)、「つちたち」(作:ミロコマチコ)などがある。パレットクラブ講師、ギャラリーVie 絵話室講師、ピンポイント絵本コンペ審査員など絵本にまつわる活動も多数。



宮川 勉 (みやかわ つとむ)

1961年千葉県生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業後、小学館へ入社。自然のことに関わりたくて、希望していたBE-PALに配属される。最初の仕事は、当時イラストレーターであった村上康成氏の原稿をもらうこと。その後他編集部を出たり入ったりするもの足かけ15年間を同編集部で過ごす。2006年、保育誌の編集部へ異動。2011年「新 幼児と保育」を創刊。絵本作家・中川ひろたか氏の主催するA1 あそびうたを支援。その縁で、長谷川義史氏などに仕事を依頼。「新 幼児と保育」の表紙は、毎月第一線の絵本作家に描き下ろしの作品をいただく。一枚だけの絵本というコンセプトの「表紙絵本塾」を続けている。現在同誌編集長兼「こども・保育」室長。趣味は昆虫採集とその虫を描くこと、クラシックギター、階段を上ること。



はた こうしろう (秦 好史郎)

絵本作家、イラストレーター。1963年、兵庫県西宮市で生まれる。5歳で大阪府高槻市に移り、現在は東京都在住。絵本の他、挿画、イラスト、ブックデザインも数多く、「ちいさながくのとも」(福音館書店)のロゴデザイン、シリーズ装丁、「こそあどの森シリーズ」(岡田淳著/理論社)シリーズ装丁、ブックデザインなども手がけている。講談社絵本新人賞とMOE絵本グランプリの両方の審査員をつとめた経験を持つ。



大河平 将朗 (おこひら まさお)

1960年、静岡県生まれ。教科書編集を経て、1994年、金の星社に入社、編集部所属。おもな編集絵本に「あいうえおのえほん」(よこたきよし・文、いもとようこ・絵)、「しげちゃん」(宮井遊・作、長谷川義史・絵)、「おかささん だいすきだよ」(みやにしたつや・作・絵)、「おとぎれっしゅっぱつしんこう」(開瀬なおたか・作・絵)、「せんろはつづく」シリーズ、「すずめ! きょうじょたい」シリーズ(ともに、竹下文子・文、鈴木まもる・絵)など。



早川 裕 (はやかわ ゆたか)

1959年東京都生まれ。1983年9月クレヨンハウスに就職。児童書売場や出版営業などを経験し2003年4月退社。2003年5月東京ブックサポートを立ち上げる。2005年2月JPIC 読書アドバイザー養成講座第13期を修了。2006年2月絵本の読み聞かせ活動開始。書店を中心に通算200ステージ以上。2014年4月株式会社集文社 代表取締役役に就任。2015年2月絵本「おなかのなかのいたときはね」を2016年9月「勉強しなればだいじょうぶ改訂版」(五味www太郎/著)を出版。絵本作家志望者を応援する「えほんみち」主宰。